

時の太鼓顕彰（「時の記念日」 6月10日）

6月10日「時の記念日」に合わせ、昔ながらの打法で時をつげる一。



文化財保護協会のみなさんが袴(かみしも)姿に正装し、昔ながらの打ち方で太鼓を打ち鳴らします。また、当日は、民謡保存会による古謡北方民謡と踊りが合わせて披露されます。太鼓の打ち鳴らしを体験することもできます。ぜひ、みなさんでお越しください。

【日にち】 6月10日（金）

【場 所】 西順寺（北方町清水）

【時 刻】 明け六つ（日の出）	午前 4時37分
五つ	午前 7時 2分
四つ	午前 9時27分（古謡北方踊り実演あり）
九つ（正午）	午前11時52分（古謡北方踊り実演あり）
八つ	午後 2時17分（古謡北方踊り実演あり）
七つ	午後 4時42分

【由 来】 元禄10年（1697年）、北方領土主 戸田光賢(みつかた)は、将軍 徳川綱吉に馬術の妙技を上覧し、その褒美に御三家以外は使用できないという「時の太鼓とその打ち上げの許可」を賜りました。

北方町文化財保護協会 発足を機に、昭和56年頃より「時の記念日」に昔ながらの打ち方を再現するようになりました。“昔から伝わる太鼓の打ち方”は独特で、はじめは小さく早く、終わりは高く打ち鳴らします。この打法により打ち上げられた太鼓の音は何ともいえず、当日は北方町内に響き渡ります。

また、暦学者である 渋川春海より贈られた板額（町指定重要有形民俗文化財）が太鼓楼に設置されており、当日は一般公開されます。

○問い合わせ：生涯学習センター きらり ☎058-320-2200（月曜休館）